

確認番号	第 確認建築一宮市 号	変更番号	第 確更建築一宮市 号			
建築主						
建築場所						
工事監理者						
変更事項	無 ・ 有 （ ）					
※検査日	令和 年 月 日					
※検査員						
※手直し連絡日	令和 年 月 日					
※手直し連絡先						
※手直し完了日	令和 年 月 日					
検査項目	内 容	監理者	※検査員		※修正	備 考
			A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	適否	月日	
1 敷 地	1 確認表示板の有無		A ・ C			
	2 敷地境界の確認		A ・ B ・ C			
	3 形態の確認		A ・ B ・ C			
	4 地盤盛土の確認		A ・ B ・ C			
	5 セットバック内の塀、擁壁		A ・ B ・ C			
	6 出入口等の確認		A ・ B ・ C			
	7 その他		A ・ B ・ C			
2 建物廻り	1 建物位置の確認		A ・ B ・ C			
	2 庇の出の確認		A ・ B ・ C			
	3 既存建物との関係		A ・ B ・ C			
	4 既存建物の用途変更		A ・ C			
	5 用途分割の場合の確認		A ・ B ・ C			
	6 その他		A ・ B ・ C			
3 建物外部	1 工作物、建物の増築の有無		A ・ B ・ C			
	2 工作物の法的申請要否		A ・ B ・ C			
	3 建物高さの確認(各高さ共)		A ・ B ・ C			
	4 斜線制限の適否		A ・ B ・ C			
	5 窓・開口部の変更確認		A ・ B ・ C			
	6 屋根施工の確認		A ・ C			
	7 その他		A ・ B ・ C			
4 全体	① 共通	a) 柱、はり、壁、スラブの位置の確認	A ・ C			
		b) かぶり厚さの確保	A ・ B ・ C			
		c) 鉄筋の材質（共通）の確認	A ・ B ・ C			
5 地盤・基礎	① 支持地盤	支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認	A ・ C			
	② 基礎形状	基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、偏心等の確認	A ・ B ・ C			
	③ 種類・ベース	ベース寸法、主筋の径、本数、位置、偏心による補強等の確認	A ・ B ・ C			
	④ 地中ばり	地中ばりの断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手(位置、長さ)、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強等の確認	A ・ B ・ C			

検査項目	内 容	監理者	※検査員		※修正	備 考
			A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	適否	月日	
柱	① 一般階主筋	a) 柱径寸法、主筋の径、本数、配置（方向）、 偏心による補強等の確認		A・B・C		
		b) 2段筋の位置（間隔）の確認		A・B・C		
	② 最上階主筋	a) 柱頭鉄筋の止まり高さ、 主筋の出隅のフックの確認		A・B・C		
		b) 最上階の主筋のはりに対する定着確認		A・B・C		
	③ 最下階主筋	最下階の主筋の基礎に対する定着確認		A・B・C		
	④ 定着・継手	a) 主筋の継手位置の確認		A・B・C		
		b) ふかしの大きさによる配筋補強確認		A・B・C		
	⑤ 帯筋	a) 鉄筋径、間隔、本数（副帯筋共） 及び形状の確認		A・B・C		
		b) 主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強の確認		A・C		
		c) 仕口部分の帯筋の配置確認		A・B・C		
d) 第一帯筋と柱頭拘束帯筋の位置確認			A・C			
e) 帯筋のフック形状、 あそび及び結束の確認			A・B・C			
はり	① はり主筋	a) はり断面寸法、はり主筋の径、 本数及び位置の確認		A・B・C		
		b) 中吊り筋の間隔の確保、長さ確認		A・B・C		
	② 定着・継手	a) はり筋の定着長さ、位置確認		A・B・C		
		b) 重ね継ぎ手の位置と長さ確認		A・B・C		
		c) はり筋出隅部の末端フック確認		A・B・C		
	③ ふかし・ 貫通孔補強	ふかしの補強方法が適切か、 貫通孔補強筋の確認（評定品の仕様確認）		A・B・C		
	④ あばら筋	a) あばら筋の径、本数（副あばら筋共）と ピッチの確認		A・B・C		
		b) あばら筋のフック形状 あそび及び結束の確認		A・B・C		
	⑤ 片持ばり・小ばり	a) 片持ばり主筋の定着、あばら筋位置確認		A・B・C		
		b) 小ばり配筋の位置と定着確認		A・B・C		
ス ラ ブ	① スラブ筋	a) スラブ厚寸法、鉄筋のピッチと径の確認		A・B・C		
		b) 主筋配置（短辺・長辺とバンド配筋）と 支持条件の確認		A・C		
	② 定着・重ね継ぎ手	a) 定着の長さ与方法 （はり定着、隣接スラブ定着、段差スラブ定着）		A・B・C		
		b) 片持スラブの定着と上端筋位置確保 （先端壁有無）		A・B・C		
		c) 継ぎ手の位置と長さ		A・B・C		
	③ 補強筋等	a) 床スラブの出入隅部の補強		A・B・C		
		b) 開口部補強配筋確認		A・B・C		
		c) 階段部配筋と補強筋確認		A・B・C		
d) 設備配管による補強は考慮されているか			A・C			
9 壁	① 壁筋	壁厚寸法、鉄筋のピッチと径の位置 （土圧、壁主筋、階段受け筋の確認）		A・B・C		

検査項目	内 容	監理者	※検査員		※修正	備 考
			A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	適否	月日	
9 壁	② 定着・ 重ね継ぎ手	a) 定着確認（はり、柱、スラブ、壁定着）		A・B・C		
		b) 重ね継ぎ手の位置と長さの確認		A・B・C		
	③ 補強筋等	a) 開口部補強配筋確認		A・B・C		
		b) スリット（完全・部分）の位置、 形状及び配筋確認		A・B・C		
# そ の 他	① 設備配管等	設備配線管（CD管等）の配置確認		A・C		
	② ガス圧接継ぎ手	a) 形状		A・C		
		b) 強度確認		C		
	③ 特殊鉄筋継ぎ手	認定、評定工法の確認		A・B・C		
	④ 型枠並びに 既存打設部分 状況確認	a) 型枠及び支柱の締付け、清掃状況確認		A・C		
		b) ジャンカ処理、 型枠材等木片撤去補修確認		A・C		
		c) 基礎、柱、はり、床板、 壁躯体寸法の確認		A・C		
d) 型枠支柱存置期間の確認			A・C			
e) コンクリート打設後の養生		A・C				
f) コンクリートの調合及び圧縮強度の確認		C				

	確認を行った部 位・材料の種類等	照合内容	照合を行った 設計図書	設計図書の内容に ついて設計者に確 認した事項	照合方法	照合結果 (不適の場合には建築主に 対して行った報告の内容)
1 1 内装 居室の内装の仕上げに 用いる建築材料の種類 及び 当該建築材料を 用いる部分の面積						
1 2 建築設備 建築設備に用いる 材料の種類並びに その照合した内容、 構造及び施工状況 (区画貫通部の 処理状況を含む)						

13 不具合の処置方法	
14 添付図書	
※15 備 考	

注意事項

1. このチェックシートは中間検査申請時に提出してください。（中間検査申請書の第四面の記入は必要ありません。）
2. 変更がある場合又は手直し事項は備考欄にその内容を記入してください。
3. ※印は記入しないでください。監理者欄の該当箇所にチェックを入れてください。
4. 杭、鉄筋、コンクリート関係の各種報告書は検査当日、現場の方で用意してください。
5. 検査内容については配筋指針、JASS5、構造規定等を参考にしてください。